

# エシカル消費に関する消費者庁の取組

消費者庁  
新未来創造戦略本部  
令和6年12月

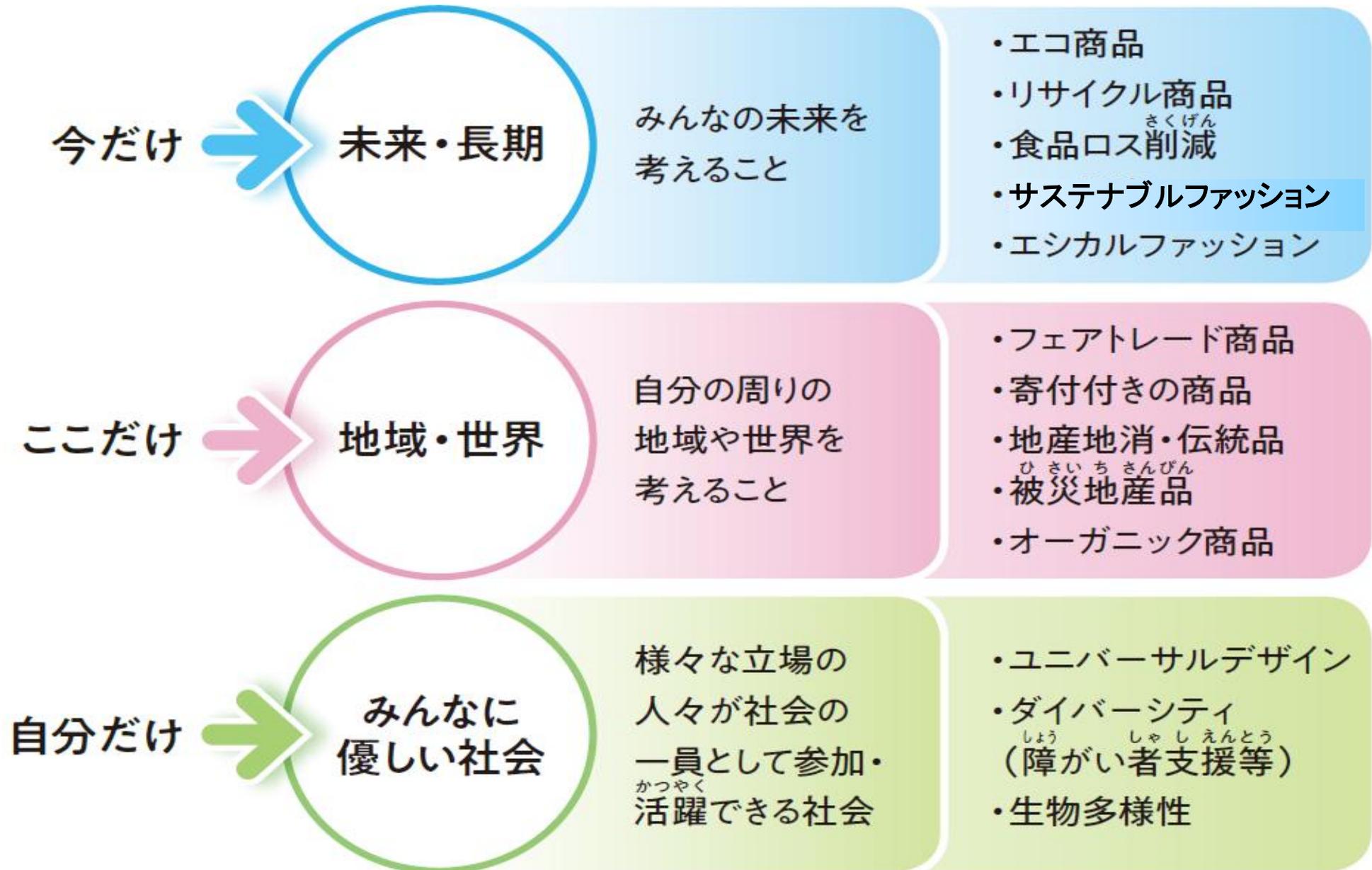


消費者ホットライン188  
イメージキャラクター イヤヤン

# エシカル消費とは

エシカル消費(倫理的消費)とは、よりよい社会に向けた、人や社会、環境に配慮した消費行動のこと。

例えば、「今だけ」でなく「未来」のことも考え、「ここだけ」でなく「世界」のことも考え、「自分だけ」でなく「様々な立場の人々」のことも考えた消費行動が「エシカル消費」といえる。



# エシカル消費で応援できることの具体例

認証ラベルのある商品を選ぶ※



**FSC®森林認証:**  
適切に管理された森林資源を使用した商品(紙製品など)



**MSC認証:**  
海洋の自然環境や水産資源を守って獲られた水産物(シーフード)

**生物多様性**  
への配慮



**RSPO認証:**  
環境への影響に配慮した持続可能なパーム油使用の商品(洗剤など)

**被災地の産品を買う**  
被災地の特産品を消費することで経済復興を応援。



**地域**  
への配慮

**地元の産品を買う**  
地産地消によって地域活性化や輸送エネルギーを削減。

**環境**  
への配慮

**エコ商品を選ぶ**

リサイクル素材を使ったものや資源保護等に関する認証がある商品を購入。



**社会**  
への配慮

**寄付付き商品を選ぶ**

売上金の一部が寄付につながる商品。



**フェアトレード商品を選ぶ**

発展途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に取引された商品を。



**人**  
への配慮

**障がいがある人の支援につながる商品を選ぶ**  
働きたい障がいがある人を支援している事業者の商品。

エシカル消費って  
つまり  
何を買うか考えるときの  
ひとつの尺度です

世界の未来を変えるのは、あなたの日々の消費です。

# エシカル消費に資する認証マークの例



有機JASマーク

農薬や化学肥料を控え、  
自然界の力で生産された  
食品に付けられる



レインフォレスト  
・アライアンス  
認証マーク

より持続可能な農法で栽培  
された製品に付けられる



FSC認証マーク

適切に管理された森林資源  
を使用した商品



MSC認証マーク

海洋の自然環境や水産資源  
を守って獲られた水産物



RSPO認証マーク

環境への影響に配慮した持続  
可能なパーム油を使用している  
商品

# エシカル消費を実践できる場面

商品・サービスを選択するとき

- ・ 誰がどこで作ったのか、お店までどのように運ばれてきたのか、地球環境に優しいか、人の暮らしを守って作られているかなどを調べて選ぶ



買物をするとき

- ・ 必要な人が他にもいることを想像し、必要な分だけを買う



買ったものを使う・処分するとき

- ・ 大切に長く使う
- ・ 一度使用した後もシェアやリサイクルなどをする



# 消費者庁の取組①

## エシカル・ラボ

- エシカル消費の意義や必要性について、広く普及することを目的に、平成27年から令和元年にかけて、**全国各地でシンポジウム等を計10回**開催（東京、徳島（2回）、鳥取、秋田、山口、京都、石川、兵庫、静岡）。
- 各都道府県等と共催**することで、**地方公共団体による主体的な取組**を促進。

### 様々な主体による展示・販売



### クラリネットアンサンブルによる演奏



クラリネットの素材と「エシカル消費」の関係性について解説

## 学校で出前講座実施、イベントにてワークショップ実施

- 小・中学校に出向いて、「エシカル消費」について知るとともに、**社会課題の解決につながる買物の仕方について学ぶ**ことを目的とする出前講座を実施。
- 学校**授業等で活用**できるようにアレンジした**指導者向け解説書や動画等**を使用。
- エシカル消費を体感**してもらえるワークショップを開催。

### 小学校出前講座の様子



### ワークショップの様子



## エシカル甲子園（令和元年～）

主催：徳島県教育委員会及び徳島県※  
後援：消費者庁ほか

- 全国の高校の中から、エシカル消費の推進に積極的に取り組んでいる高校を選抜し、その取組に関する発表を行い、特に優れたものについて表彰。

※令和元年は消費者庁と共催



## エシカル消費普及啓発資材の作成



年間約30箇所へ無料提供



## 特設サイトやSNSによる情報発信

### エシカル消費特設サイト



消費者庁は、エシカル消費の普及・啓発を推進するため、本特設サイトを開設しました。



### サステナブルファッション特設サイト



# 消費者庁の取組②

## エシカル消費公式Instagram（令和5年3月～）



● 若年層へのエシカル消費周知啓発のため、Instagram開設。身近なことから始められるエシカル消費やサステナブルファッションについて紹介。



サステナブルファッション・パートナー 剛力彩芽氏の啓発動画



## サステナブルファッションに関する国際シンポジウムの開催

- **基調講演**：EUより行政による循環経済の実現、人権デューデリジェンスを目指した法制度の内容を、欧州繊維産業団体より持続可能な衣料品サプライチェーン構築に向けた取組などを説明。
- **ラウンドテーブル**：経済産業省より繊維産業における環境や人権への配慮に関するガイドライン策定などの取組紹介、日本でサステナブルファッションに取り組む事業者及び学生による取組紹介・意見交換。



## 地域における先進的なモデル事業の創出に向けた支援

- 令和3年度に尾張地方で地方消費者行政に関する先進的なモデル事業を実施。
- モデル事業終了後も、プロジェクトに参加していたメンバーがそれぞれの強みを活かして活動を拡大中。

エシカルファッションショー&トークショー



月1で開催されているマルシェ



## サステナブルファッション・サポーター等の委嘱（令和3年9月～）

- サステナブルファッションの推進に賛同し協力いただける著名人・有識者等を「サステナブルファッション・サポーター」等として委嘱し、消費者向けの情報発信を強化。
- サステナブルファッション・サポーター懇談会において意見交換。（令和3年11月2日、令和4年11月8日、令和5年11月30日）

### エシカルライフスタイルSDGsアンバサダー

富永 愛 氏 | モデル、国際協力NGOジョイセフアンバサダー

### サステナブルファッション・パートナー

剛力 彩芽 氏 | 俳優、モデル

### サステナブルファッション・サポーター（9名）

生駒 芳子 氏	VOGUE, ELLE元副編集長、マリ・クレール日本版・元編集長
eri 氏	DEPTカンパニー代表／アクティビスト
鎌田 安里紗 氏	一般社団法人unisteps共同代表
ガンバレルーヤ まひる氏・よしこ氏	お笑い芸人
関 龍彦 氏	講談社FRaU編集長 兼 プロデューサー
向 千鶴 氏	WWDJAPAN編集統括サステナビリティ・ディレクター
村田 邦子 氏	kokoperi（アフリカ布作家）
レイザーラモンRG 氏	お笑い芸人

# 消費者庁の取組③

## 食品ロス削減の推進に関する啓発

### 《我が国の食品ロスの状況》

事業系236万トン  
家庭系236万トン

- ・食品ロス量は年間472万トン（令和4年度推計）  
≒国連世界食糧計画（WFP）による食料支援量（約480万トン）
- ・年間1人当たりの食品ロス量は38kg  
≒毎日1人あたりおにぎり1個を捨てている計算

### 持続可能な社会の実現

多様な主体が連携し、国民運動として食品ロスの削減を推進



〈チラシ・冊子による普及啓発〉



〈食材をムダにしないレシピの発信〉



〈10月食品ロス削減月間の啓発、全国大会開催〉



〈食品ロス削減推進表彰の実施〉

〈地域に根差した食品ロス削減を推進する人材（食品ロス削減推進サポーター）の育成〉



〈食品ロス削減推進アンバサダーを起用した動画やポスターによる啓発〉



〈食品ロス削減特設サイト・X（旧Twitter）の情報発信〉



〈食品ロス削減川柳コンテストの開催〉



〈食品ロス削減推進サポーター育成用食品ロス削減ガイドブックの作成〉



# (参考) エシカル甲子園2024 (主催：徳島県教育委員会・徳島県、後援：消費者庁等)

- エシカル消費の推進に積極的に取り組んでいる高校生等がエシカル消費に係る各自の取組について発表する場を設け、特に優れたものを表彰し、エシカル消費の推進に資する取組の機運を後押しする行事。
- 全国から応募のあった61校の中から予選審査を経た8校が本選（開催：2024年12月26日（木）／会場：徳島グランヴィリオホテル）に出場。



ブロック	学校名	取組概要
①北海道・東北	宮城県農業高等学校	肥料の費用高騰に窮する地元農家からの相談を受け、実証実験や生育調査等を通じ、 <b>通常よりも少ない肥料で従来と同程度の生育、食味を確保できる米の栽培方法、新肥料を開発</b> 。新肥料は従来の価格より約7割安価であることに加え、投入量も1/3に削減されたことで、約6割の労務費の削減を実現。
②関東	東京学芸大学附属国際中等教育学校	ケニアのストリートチルドレンの現状、課題を発信するため、アフリカ布「キテング」の <b>余り布からイヤリング、スマホストラップ、シュシュなどの商品製作・販売を行い、その売り上げをケニアのストリートチルドレン職業訓練校に寄付</b> 。また、ケニアでストリートチルドレンの教育支援を行っている青年海外協力隊とのミーティング、勉強会で得た知識を踏まえ、エシカル商品の魅力やケニアの教育課題の情報をSNSや商品タグを使って発信している。
③中部	静岡県立富士特別支援学校	<b>家庭排水による海洋汚染の防止を目指し、新聞紙を再利用した油吸収材「Qちゃん」を製造して校内やマルシェで販売</b> を行った。プラスチック削減のため、梱包資材を見直し、学校で出た古紙を再利用するなど改良を進めている。マルシェなどの販売会への参加では、商品が完売を続けており、販売会を通じてテレビやメディアに取り上げられ、学校と関わり合いのない方からの問い合わせも増えており、地域の方に「Qちゃん」の良さが伝わっている。
④近畿	滋賀県立虎姫高等学校	<b>琵琶湖に生えているヨシは水質保全のために毎年刈り取る必要</b> があり、利用先が求められる。そのため、 <b>ヨシから生分解性の紙皿を製作し、学園祭で実際に使用した後、紙皿を土壌に埋めて肥料とした</b> 。ヨシの紙皿を利用することで、洗い物による水消費の減少、琵琶湖の水位低下対策、生態系の維持に繋がった。
⑤中国・四国	香川県立三本松高等学校	昨年度までは <b>規格外野菜を活用したメニュー開発</b> をしたり、 <b>食堂から出る生ごみから肥料を作り、栽培した野菜を食堂で活用</b> したりするなど、 <b>利用者が少なく経営不振だった学食を立て直すための活動</b> を行った。今年度は、引き続き上述の活動も実施しつつ、新たに地域の飲食店が学食で食事を提供する一日食堂を開催したり、地域住民が学食を利用できるようにしたりするなど、学食を「地域の食堂」にする活動を実施した。
⑥九州・沖縄	佐賀県立伊万里実業高等学校	持続可能なまちづくりのためには、正しいフードシステムを後世に伝えるべく、子どもたちへの食育活動の強化が必要とし、 <b>フードドライブで集まった食品や地域企業から集めた規格外食品を活用し</b> 、NPO法人こすもす村と連携しながら <b>月に1度、子ども食堂「学びのkidsレストラン」を運営</b> 。郷土料理のおいしさや由来を地域の子どもたちに伝えている。
⑦開催県	徳島県立城東高等学校	エシカル消費を実践するためには、自身の消費行動がエシカル消費に該当するかどうか、また、身近な商品・サービス、企業活動のエシカル消費との関連性に「気づく力」が重要であるとし、 <b>ChatGPTを用いて、どういった消費行動がエシカル消費に該当するか、また、日本エシカル推進協議会（JEI）のエシカル基準から見た企業の評価に関する分析を実施</b> 。
⑧審査委員特別枠	徳島県立つるぎ高等学校	<b>消滅可能性都市に挙げられているし阿波地域の活性化を目指し</b> 、生徒自身が地域の魅力に気づき、その発信、交流人口の拡大に主体的、協同的に取り組む姿勢を養うため、観光協会の出前授業の受講や青年会議所とのセミナー開催、 <b>地域の観光列車の駅スタンプやその列車のみで配布する数量限定カードの製作等を実施し、活動内容を学校のHPやSNSで発信</b> 。